

パソコンで作成する場合、
行の挿入やセルの結合などは行わないこと。

手書きのものを修正する場合、二重線で消すこと。
(訂正印は不要)

記入例

採用される職名を記入する。

・教諭 → 教諭または講師

(※日本国籍ではない方は「講師」と記入)

・養護教諭 → 養護教諭

・栄養教諭 → 栄養教諭

・事務職員 → 主事

登載者番号を記入する。

登載者番号 A000001

戸籍上の文字で記入する。
※パソコンで作成する場合も、
外字等の部分は手書きで記入
すること。

本籍の都道府県を記入
する。

過去に改姓している場合のみ
記入する。

記入不要

寮、下宿等で卒業
後に転居する場合
は、帰省先住所を
記入する。

ふりがな	ひろしま もみじ	ふりがな	あき もみじ	生年月日	平成2年4月10日	性別	女
氏名	広島 もみじ	旧氏名	安芸 もみじ	採用前研修歴	年月日	機	関
本籍	広島県	(本籍は都道府県名のみ記入すること。)					
現住所	広島市中区基町9-42						
免許状・資格	取得年月日	授与権者					
中学校教諭一種免許状(国語)	H25.3.25	広島県教育委員会					
小学校教諭一種免許状		京都府教育委員会					
特別支援学校教諭一種免許状(知・肢)		京都府教育委員会					
司書教諭資格	R6.12.20	文部科学省					

取得見込で取得年月日が不
明な場合は空欄とする。

文部科学省等で研修したもの及び初
任者研修等の指定研修のみ記入する。

司書、学芸員、社会教育主事等の免許も記入する。(この場合の授与権
者は講習を行った機関の長) ※ただし見込の場合は記入不要。

卒業、修了、退学を記入する。

転校した場合は、
卒業した学校のみ
を記入し、在学年
数は通算する。

年月日	学	歴	在学年数	資格
H15.3.31	〇〇県〇〇郡〇〇町立〇〇小学校		6・0	卒業
H18.3.31	〇〇県〇〇市立〇〇中学校		3・0	卒業
H21.3.31	〇〇県立〇〇高等学校〇〇科		3・0	卒業
H25.3.25	〇〇大学〇〇学部〇〇学科		4・0	卒業
R2.3.25	通信大学文学部教育学科		2・0	修了

高等学校・大学は学科
(コース)を記入する。
※普通科も漏れなく記入
すること。

卒業等の年月日を記入する。
※小中高は3月31日とする。

通信教育により大学等を修了した
場合も記入する。

在学していた年数を記入する。
※4年6月の場合は、「4・6」と記入し、
3年11月の場合は、「3・11」と記入する。

(1)

任期開始年月日	任期終了年月日	記	事	発令機関
H25.4.1	H27.3.31	(株) □□商会		
H27.4.1	H28.3.31	広島県立	〇〇高等学校 教諭 (臨時的任用)	広島県教育委員会
H28.7.1	H28.10.31	広島県	▽▽町立◇◇中学校 教諭 (臨時的任用)	広島県教育委員会
H28.11.2	H29.2.20	岡山県立	〇〇高等学校教諭 (臨時的任用)	岡山県教育委員会
H29.4.7	H30.3.31	広島県	〇〇市立〇〇中学校講師 (非常勤)	広島県教育委員会
H30.4.6	H31.3.31	広島県	広島市立〇〇中学校講師 (非常勤)	広島市教育委員会
H31.4.1	R2.3.31	広島県	〇〇市立〇〇小学校介助指導員 (非常勤)	〇〇市教育委員会
R2.4.1	R3.3.31	広島県	〇〇市立〇〇小学校教諭 (臨時的任用)	広島県教育委員会
R3.4.1	R4.3.25	広島県	〇〇市立〇〇中学校会計年度任用職員 講師 (非常勤)	広島県教育委員会
R7.4.1		広島県	▽▽町立◇◇中学校 教諭 (臨時的任用)	

職歴のない期間につ
いては記入不要。

履歴カード作成時点で、現に
勤務している場合、任期満了
は記入しない。

公立学校教員(育休任期付職員、臨時的
任用職員、会計年度任用職員も含
む)等の公務員歴は「実線から」記入
し、実線と点線の間に、自治体名を記
入する。
私立学校教員、企業等の民間職歴につ
いては「点線から」記入する。

辞令を交付している機関(任命権者)を記入する。
※民間企業の場合は記入不要。

【臨時的任用等に係る記事の記載について】

- ◆ 1日も空かず、同一所属で臨時的任用が継続している場合は、最終的に当該所属での任期が終了した日を任期終了年月日とし、
1つの記事として作成する。
- ◇ 会計年度任用職員(講師(非常勤)等)で、学期ごとや1月ごと等に任期が区切られている場合は、別個に記事を作成する。